

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成23年度 技術情報第6号（水稻海外飛来性害虫）について（送付）

水稻海外飛来性害虫の今後の防除対策について、下記のとおりまとめましたので送付します。

## 平成23年度 技術情報第6号

- 1 対象病害虫 セジロウンカ，トビイロウンカ，コブノメイガ
- 2 対象作物 普通期水稻
- 3 飛来及び発生状況
  - (1) 7月10日現在の予察灯などへのウンカ類，コブノメイガの誘殺および捕獲量は少なく（表1），主な飛来月日は6月16～18日，7月5～6日である。
  - (2) 7月1～7日の巡回調査での発生ほ場率は，セジロウンカが66%（平成22年69%），トビイロウンカが0%（平成22年6%），コブノメイガが2%（平成22年34%）である。
  - (3) トビイロウンカの初期密度は低いが，今後の発生に注意する。
- 4 防除の考え方
  - (1) 本年は海外飛来性害虫の飛来が少ない状況であるが，今後の防除対策を考える上で，予察灯等への誘殺状況から，防除適期を下記のとおりとした。
  - (2) トビイロウンカに対する防除適期（粉剤・液剤・粒剤等による防除）
    - 6月16日飛来虫：7月31日～8月6日頃（第2世代成虫）
    - 7月5日飛来虫：7月21～27日頃（第1世代幼虫）及び8月16～22日頃（第2世代幼虫）
  - (2) コブノメイガに対する防除
    - 発蛾最盛日の予測
      - 6月16日飛来虫：7月16日頃（第1世代成虫）と8月13日頃（第2世代成虫）
      - 7月5日飛来虫：8月2日頃（第1世代成虫）
    - 防除適期
      - 粒剤：発蛾最盛日には場に水を溜めてから散布する。
      - 粉剤・液剤等：発蛾最盛日の7～10日後に散布する。
      - ほ場の見回り，発蛾状況に応じて防除する。

予察灯等のデータは防除所ホームページ<http://www.jpnp.ne.jp/kagoshima>に掲載中。

表1 予察灯等による誘殺，捕獲状況（南さつま市金峰町，さつま町中津川）

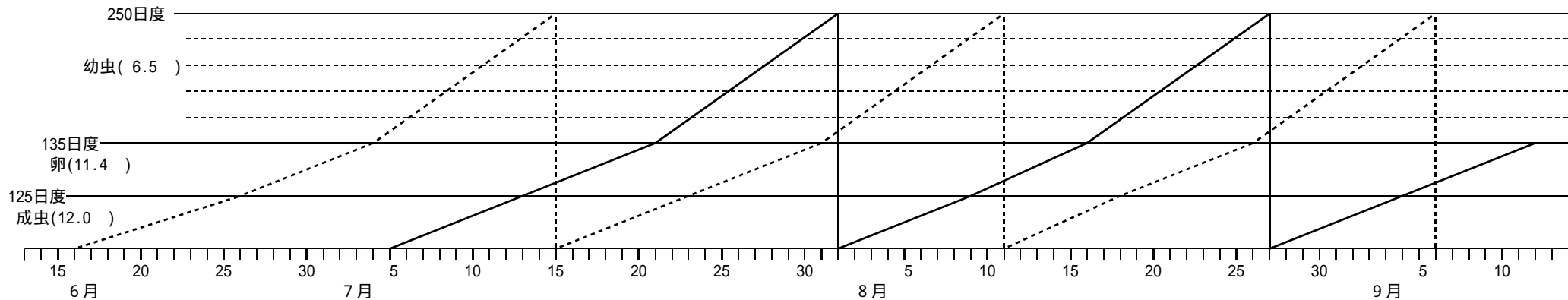
日付	60W予察灯				ジョンソントラップ <sup>o</sup>		ライトトラップ <sup>o</sup>
	南さつま市		さつま町		南さつま市		南さつま市
	セジロ ウカ	トビイロ ウカ	セジロ ウカ	トビイロ ウカ	セジロ ウカ	トビイロ ウカ	コブノメイガ
6/11	0	0	↓	↓	1	0	0
6/12	0	0	0	0	0	0	0
6/13	0	0	↓	↓	0	0	1
6/14	0	0	0	0	0	0	0
6/15	0	0	↓	↓	-	-	0
6/16	3	0	8	0	2	0	0
6/17	0	0	↓	↓	2	0	0
6/18	0	0	↓	↓	0	0	0
6/19	1	0	43	0	1	0	-
6/20	0	0	↓	↓	1	0	0
6/21	0	0	10	0	0	0	0
6/22	1	0	↓	↓	0	0	0
6/23	0	0	0	0	0	0	0
6/24	0	0	↓	↓	0	0	0
6/25	0	0	↓	↓	0	0	0
6/26	0	0	0	0	0	0	0
6/27	0	0	↓	↓	0	0	0
6/28	0	0	0	0	0	0	1
6/29	0	0	↓	↓	0	0	0
6/30	0	0	0	0	0	0	0
7/1	0	0	↓	↓	0	0	0
7/2	3	0	↓	↓	0	0	0
7/3	0	0	1	0	0	0	0
7/4	0	0	0	0	2	0	0
7/5	5	0	87	1	3	0	0
7/6	2	0	13	0	4	0	0
7/7	0	0	19	0	0	0	5
7/8	0	0	↓	↓	0	0	10
7/9	0	0	↓	↓	0	0	3
7/10	2	0	2	0	1	0	3

1. 海外飛来性害虫の有効積算温度による発生経過予測図（鹿児島地方気象台：鹿児島のデータを使用）

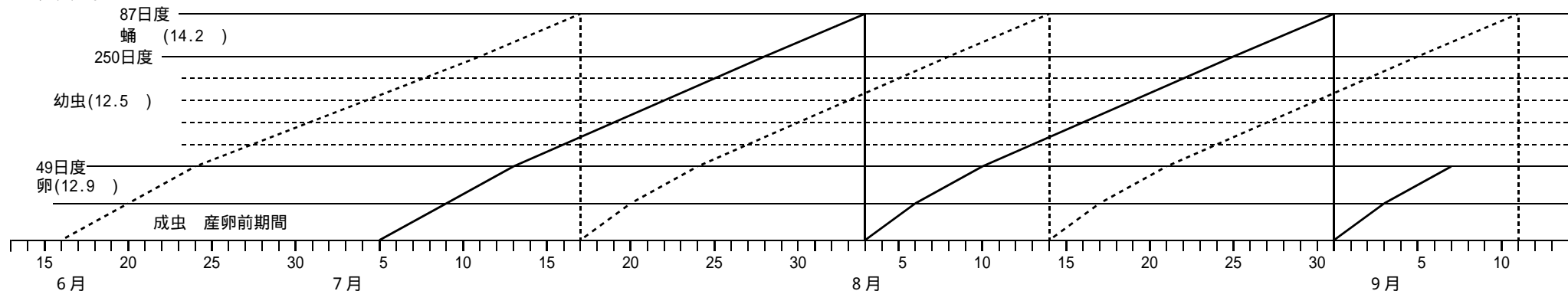
2011年7月12日 作成

鹿児島県病害虫防除所

1. トビイロウンカ



2. コブノメイガ



(注) 気温の低い地域では予測より2～4日程度遅くなる。

